

# ながはま 見聞録

## Nagahama Hotnews

このコーナーは、長浜の見どころ、市民の皆さんの活動の様子やまちで見かけたほっとな話題を紹介し、あなたが知っている旬の話題などがあれば、市民広報課(☎65-6504)までお知らせください。

### 長浜市公式 SNS

- 長浜の催しや風景など、自慢の一枚をInstagramに投稿してください。長浜市公式Instagramアカウント「# みんなのちよびつく」で紹介し、詳しくは市ホームページをご覧ください。
- 見聞録のイベントは市公式 Facebook ページでもさらに詳しくみることができます。



▲市ホームページ



▲ほっとにゆ〜す

1月18日(土)

### 長浜のDNAを活かしたまちづくりを考える

市内の書店「文泉堂」で「クリエイターズアクション」が開催されました。

この日は、いま国内外からもものづくりの街として注目の東京都台東区の「カチクラエリア」で文具店「カキモリ」を経営する広瀬琢磨さんのトークセッションと、ディスカッションが行われ、市内の起業家や有志など約30人が参加し、未来の長浜のまちづくりのヒントやアイデアを共有しました。



2月1日(土)

### 「伝える、伝わる」デザインとは

この講座は、市民活動を広報するチラシなどを作る時の基本的な事柄を学んでもらおうと、ながはま市民協働センターが初めて開催したものです。

コーディネーターの矢島絢子さんと桐畑敦さんから、文書構成やデザイン構成の基礎を学んだ後、色鉛筆や写真などを使って仮想のイベントチラシの作成をしました。参加者は講座で学んだことを活かしながら作業を進めていました。



1月19日(日)

### 黒壁スクエア来街者 5,000 万人達成

平成元年7月からまちづくり運動として進められてきた「黒壁スクエア」の来街者が5,000万人を達成し、記念セレモニーが開かれました。

黒壁ガラス館前で行われたセレモニーでは、記念看板の除幕式などが行われ、(株)黒壁の高橋政之代表取締役社長は「黒壁が30年続いたことは、この地を愛する皆さん、商店街を盛り上げる皆さん、多くの企業の支援によるもの」と感謝を述べました。



2月2日(日)

### 湿地と水鳥の美しさを楽しむ

世界湿地の日に合わせ、湖北野鳥センターで冬の水鳥観察会が行われ、県内外から44人が参加しました。

ラムサール条約とびわ湖の水鳥について学んだ後、センター前で水鳥を観察しました。

この日はコハクチョウや、マガモ、ヒシクイなど、およそ20種類ほどの野鳥が観察でき、参加者は双眼鏡で鳥の姿を眺めたり、写真に収めたりしていました。

1月24日(金)

### 企業も求める「女性の力」

子育てなどで仕事を一旦休み、これから再就職を希望する女性のための企業説明会「おしごとフェスタ」が開催されました。

様々な業種の企業が出展し、参加者は業務内容の説明を受け、職場環境について質問する姿も多くみられました。また、就職活動の面接で好印象を与えるメイク体験では、講師のアドバイスをメモしたり、質問をしたり自身の見え方について考えるきっかけになったようでした。



2月6日(木)

### 留学生目線から長浜の魅力を発掘

滋賀県立大学で学ぶ外国人留学生が観光をテーマに市や観光協会の職員と意見交換しました。

滋賀について学ぶ同大学の講座「日本学」の一環でPRビデオを製作。イギリス、フランスや台湾など8か国計26人が3か月のフィールドワークを重ね、魅力を発掘しました。

留学生たちは「心が落ち着き休まる」や「人が親切」と長浜の魅力を笑顔で話しました。



1月26日(日)

### 新たな盆梅に素敵な名前が付けられました

開催中の長浜盆梅展で、盆梅名付け式が行われました。今回名付けられた盆梅は近江八幡市在住の盆栽愛好家菊井輝雄さんから寄贈を受けたものです。

今回の名付けを行ったのは、冷泉流歌道の冷泉貴実子さん。「令和になって初めての春。平和な春が来るたびに、永遠に盆梅展が栄えていこうに」という心を込めて、「万代の春」と名づけました。



2月12日(水)

### 快適な住環境と賑わいに期待

市営住宅北新団地の建替整備工事の安全祈願祭が、市や地元の関係者、事業者などが出席し、執り行われました。

民間の資金やノウハウを活かし公共事業を行う「PFI方式」を市営住宅整備で導入したのは県内でも初。1棟4階建て40戸と19区画の分譲住宅地が整備されます。

快適な住環境とともに、団地周辺のコミュニティの活性化が期待されています。